

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	つくば市家庭教育支援チーム (呼称:子育て休憩室)
活動開始年度	平成 10 年度
活動拠点	つくば市吾妻交流センター
活動範囲	つくば市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (つくば市こども部こども政策課の「市内子育て支援事業の一環」の位置づけで、交流センター利用の年間予約・利用料金の減免措置を受けている)
組織体制	5 人 元民生委員・元中学校相談員 2 人 元保育士 1 人 他 2 人
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input checked="" type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() 【活動内容】 乳幼児とその保護者の交流の場「井戸のない井戸端」として開催しています。 ・毎週水曜日 10 時～12 時の間であれば出入り自由です。 ・ママたちのお友達づくりのきっかけの場です。 ・場所守り(ボランティア)は、お母さんたちの橋渡し役と子どもたちをあやしたり遊んだりすること(手遊び・子守歌)によって子育ての楽しさ、また、いざこざの納め方などを自然に伝えるようにしています。 ・子育て経験の先輩として、世間話の中でいろいろな事例を伝えたり、相談を受けた時には一緒に考える時間を作ろうと心がけています。 ・出来るだけ季節の行事を話題にし、折り紙などで飾り物を作ることで、楽しみの時間を作るようにしています。 ・年に三回、市の保健センターから保健師・栄養士・歯科衛生士による出前相談を開催しています。

<p>活動の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアも一緒に育児について話題にする(自分の子育て失敗談など)ことで、周りの人も話題に加わり「一人で悩んでいるのではない」という安心感と仲間意識が生まれ、休憩室以外での交流も深まっていると見受けれます。 ・休憩室に来ている人が、一人でいる赤ちゃん連れのお母さんを誘ってきてくれることもあり、地域のつながり作りが出来ているように思えることがうれしいです。 ・子どもの育ちの中での発達不安や様子を聞き、担当機関に繋ぐことや、見守りを行うこともしています。 ・休憩室に来ている方や、卒業した方たちからのお下がり衣服やおもちゃが届き、突発的リサイクル市が開かれることもあり、それが自然な形での思いやりや交流・継続につながっていると思います。 ・休憩室を離れても、お母さん同士たちの交流は続いているようですし、ボランティアとのつながりも近所の知り合いとしてのつながりが続いています。
<p>活動において苦勞した点や課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・苦勞は特にありません。井戸のない井戸端なので、すべて「お互い様の精神」を貫いているつもりです。休憩室に合わなそうな方は他をご紹介しますし「嫌な思いを持って帰宅されないように」ということだけは、この部屋に来ている人たちみんなが心がけていると思います。 (課題) ・休憩室まで出て来れないお母さんたちに何が出来るのだろう?と、ボランティアだけでなく、参加しているお母さんたちも考えています。
<p>今後の活動目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出来るだけ、今までと同じように、何も制約を作らず、いつでも気持ちの向いた時にふらっと訪れることの出来る場所、を継続していきたいと思えます。
<p>問合せ先</p>	<p>(部署・氏名等)子育て休憩室 代表 星埜 祥子 (TEL)029-851-5263 (E-mail)shoshino@za2.so-net.ne.jp</p>